

45・マスクと表情

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

下に並んでいる写真は、3つの表情をしてもらって撮ったものです。
マスクの下で、左から同じ表情をしてもらっています。どんな表情をリクエストしたのかわかりますか？



ほとんど、同じに見える人もいますね。
常に子どもと接している保育者なので、表情は豊かなのですが・・・

「にこにこ」



「ぷんぷん」



「こまったなー」



という表情でした。

次にランダムに配置してみます。…ますますわかりにくいですね～



思ったよりも表情は伝わらないのですね

◆マスク生活は必須となり、マスクをして

いないとパンツを履き忘れたかのような危うい感覚にさえなってしまう昨今であります。幼稚園の現場でも、子どもたちは園庭で遊ぶときや暑いときは適宜外しつつ、みんなで集まるときや通園バスの中ではマスク着用は必須となっています。ただ、関わる大人は保育者も保護者も全員マスク着用です。ずいぶん慣れてはきましたが、マスクの影響はどんなところにあるのでしょうか？

◆幼稚園の保育者に聞いてみました

①マスクをしていることで困ったことや、やりにくいことはありますか？

- ▷そもそも声が通りにくい、聞き取りにくい。
- ▷マスクをしていると子どもたちが話を聞いてくれない（集中しない）ので、大切な話は距離をとってマスクを外して話します。
- ▷口の動きが見えないので、ガヤガヤしているときにクラス全体に声を掛けても誰もふり向かない。
- ▷ハンディキャップを持った子ども（ダウン症）と話すときはマスクを取らないと通じない。口の動きを見せ、表情を見せないと伝わらない。
- ▷子どもがマスクをしていると、子どもの表情を読み取りづらい。とくに表情が乏しい子ども、滑舌がはっきりしない年少児などは、感情が読めない。→ちょっとマスク外してみて～と言って笑っているのか困っているのか確認する。
- ▷数人の子どもが同時に話しかけてきても、口が見えないので誰が話しかけているのかわからない。→挙手をしてから話してもらう。
- ▷子どもが保育者の方を向いて話を聞いていても口元で言葉を読み取ってもらうことが出来ない。

原町幼稚園では、熱中症対策や表情を見せるという意味でマスク着用には柔軟に対応するようにしています。なので、息苦しさなどに関する困りごとは無く、言葉やコミュニケーションの面について多く聞かれました。

②工夫していること、

気づいたことはありますか？

- ▷目元で表情を作るようにしている。
- ▷叱るときに『先生の顔を見てごらん！』って怒った顔を見せるために、その時だけマスクを下げます。
- ▷良くない時など、どうしても表情を子どもに伝えたいときには、マスクを一度外して表情を見せた後に再びマスクをして同じトーンで話すようにしている。
- ▷子どもが玩具をポイとした時や、大きな声をだした際、保育者が困った顔や真剣な顔などをすると、子どもから保育者のマスクを外そうとすることが多くある。（逆に子どもを褒めたときも同様）子ども自身も相手の表情を見て、状況を判断したり、確信に変えているのかなと感じました。
- ▷不安な顔をしている子どもには、マスクを取って笑顔を見せてあげると落ち着きます。
- ▷抱っこやぎゅーなど、触れ合って過ごす時間が多いため、距離が近い時にはマスクをしっかりと装着して、小さな声で話すようにしている。特に抱っこをしている時は面と向かって話をせず耳元で小さな声で話をするか、一旦下におろしてから話をするようにしている。
- ▷新しい歌を覚えるときは、マスクを外して表情や口の動きも伝えている。子どもが覚えてくるとマスク越しでも上手に歌えるようになる。
- ▷絵本を読むときも内容によっては表情も使って読みたいのでマスク無しで読む。
- ▷絵本をプロジェクターに映して読むと対面にならないので、感染予防的には良いかもしれない。
- ▷年齢的にも初めて知る言葉が多く出てくるので、出来れば口元の動きも見せながら伝えられれば良いと思う。

幼稚園は、3歳以上の子どもたちが対象なのでそれぞれ対応の仕方も違ってきます。年中長児になると、ある程度言葉も発達していますが、0歳～3歳の子どもたちへの影響はもっと大きく、子ども自身からの困った様子も幼児ほど発出されないで、子どもの発達を考えると、保育者の読み取る力や配慮がより必要になると考えます。

◆NHK「チコちゃんに叱られる」

という番組で「空気を読むって何しているの？」というお題がありました。

答えは「相手や周囲の人の0.2秒だけ見える本音の表情を見ている」と“空気をよむを科学する研究所”の清水健二さんが言ってました。

人は理性で表情をコントロールするのですが、反射的に感情が沸いてきたときに、無意識に出てしまうのが本音の表情、それが0.2～0.5秒だけ現れるそうです。その一瞬の表情を読み解くことが「空気を読む」ことだそうです。

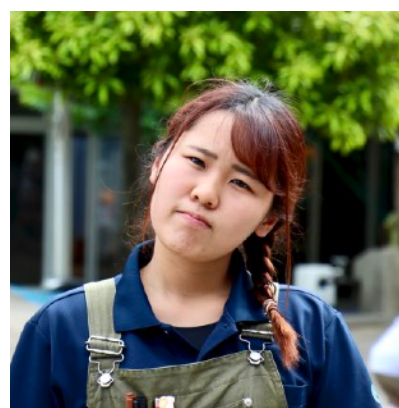
すると（僕の想像ですが）コロナ世代に乳幼児期を過ごして、表情を読み解く練習の機会を奪わ

れた世代は「空気の読めない世代」となって仕事や人間関係に不利益を被ることがあるんじゃないだろうか？それは可哀想だー！

だから、できるだけ表情を見せつつ保育していきたいと思うのです。

まてよ・・・もしかしたらこの世代は、声色を聞き取る力が発達して、「耳で空気を読む」ようになるんじゃないでしょうか？

そうは言ってもコロナの感染は予防しなければならず・・・全国のいろんな現場の工夫が共有されれば、とも思います。今回は疑問やモヤモヤを残しつつ終わります。(＞_＜)



[協力してくれた先生方ありがとう！豊かな表情でお互い向き合いたいですね！](#)





原町幼稚園 園長 鶴谷主一（60歳）
HP : <http://www.haramachi-ki.ed.jp/>
MAIL : office@haramachi-ki.jp
Twitter : @haramachikinder
Instagram : haramachik

▶ご感想・ご意見ご質問等ありましたら

気軽に連絡ください。✉ office@haramachi-ki.jp

「幼稚園の現場から」ラインナップ

- | | |
|-----------------------------|------------------------------------|
| 第1号 エピソード (2010.06) | 第22号 〔休載〕 |
| 第2号 園児募集の時期 (2010.10) | 第23号 大量に焼き芋を焼く (2015.12) 2019 |
| 第3号 幼保一体化第 (2010.12) | 第24号 お話あそび会その1 (発表会の意味) |
| 第4号 障害児の入園について (2011.03) | 第25号 お話あそび会その2 (取り組み実践) |
| 第5号 幼稚園の求活 (2011.06) | 第26号 お話あそび会その3 (保護者へ伝える) |
| 第6号 幼稚園の夏休み (2011.09) | 第27号 おもちやのかえっこ (2016.12) |
| 第7号 怪我の対応 (2011.12) | 第28号 月刊園便り「はらっぱ」 (2017.03) |
| 第8号 どうする保護者会? (2012.03) | 第29号 石ころギャラリー (2017.06) |
| 第9号 おやこんぼ (2012.06) | 第30号 幼稚園の音楽教育 (その1・発表会) 2017.09 |
| 第10号 これは、いじめ? (2012.09) | 第31号 幼稚園の音楽教育 (その2・こどものうた) 2017.12 |
| 第11号 イブニング保育 (2012.12) | 第32号 幼稚園の音楽教育 (その3・コード奏法) 2018.03 |
| 第12号 ことばのカリキュラム (2013.03) | 第33号 〔休載〕 (2018.06) |
| 第13号 日除けの作り方 (2013.06) | 第34号 働き方改革・一つの指針 (2018.09) |
| 第14号 避難訓練 (2013.09) | 第35号 働き方改革って難しい (2018.12) |
| 第15号 子ども子育て支援新制度を考える | 第36号 満3歳児保育について (2019.03) |
| 第16号 教育実習について (2014.03) | 第37号 満3歳児保育・その2 (2019.06) |
| 第17号 自由参観 (2014.06) | 第38号 プールができなくなる!? (2019.09) |
| 第18号 保護者アナログゲーム大会 (2014.09) | 第39号 跳び箱 (2019.12) |
| 第19号 こんな誕生会はいかが? (2014.12) | 第40号 幼稚園にある便利な道具〈紙を切る〉 (2020.03) |
| 第20号 ITと幼児教育 (2015.03) | 第41号 コロナ休園 (2020.06) |
| 第21号 楽しく運動能力アップ (2015.06) | 第42号 コロナ休園から再開へ (2020.09) |
| | 第43号 ティーチャーチェンジ (2020.12) |
| | 第44号 除菌あれこれやってみた (2021.03) |
| | 第45号 マスクと表情 (2021.06) |